

(研究部門)

「書く活動を活かした、主体的・対話的で深い学びの充実」

—深い学びのための授業づくり—

大阪市立四貫島小学校 学力向上部

1. 研究主題設定の理由

本校では、子どもたちの深い学びのための授業づくりを中心に据えた研究実践をすすめている。昨年度については、児童が考えを共有し、交流することに重点をおいた思考ツールを活用した授業研究に取り組んだ。思考ツールの活用により、児童の考えが視覚化され、他の児童と考えを共有しやすくなり、自分の考えを主体的に導けるようになったことは、昨年度の研究成果としてあげることができる。

その一方で、児童がより深い学びをするためには、他の児童の考えを聞き、新たに気づいたことを踏まえて、もう一度自分の考えをふりかえる時間を多く設定していくことが、本年度の課題となった。

2. 研究の趣旨

令和3年度大阪市小学校学力経年調査の調査結果を総合的に考えると、本校児童の実態は次のようにとらえることができる。

- 国語の授業の内容はよく分かり、国語の勉強は好きである。
- 主体的・対話的で深い学びへつながる授業の機会が充分与えられているとは言えない。
- 学年が進むにつれ、学習を重ねることで自分の考えを文章に表現することに対して、苦手意識は改善されている。
- 表現することに対しての苦手意識はないが、「読むこと」に課題がみられ、文章を正しく読み取り、考えたことを適切な形で答える習熟が必要である。
- 学年が上がるにつれて、読書ばなれが進んでおり、文章を読み取る機会が減少している。

本校児童の実態を踏まえ、今年度は、自分の考えを明確にし、表現するための書く活動を大切にしながら、自分と他の児童の考えを比べて共有し合う、主体的・対話的で深い学びにつながる国語科の「読むこと」を中心とした実践を研究主題に設定した。

3. 研究の概要

研究主題にせまるため、研究の視点を以下のように設定した。

視点①	学習課題をつかみ、自分で考え自分の考えを書き、友だちの考えと比べ共有し、共に深めていくための指導の手立ての工夫をする。
-----	---

1. 学習課題をつかむ

筆者や作者の意図を指導者が理解するなどの、教材文を分析し研究を行う。子どもの学びの視点、身に付けさせたい力を意識したためあてを設定することで、子どもの到達度を把握し、学びに向かうような助言や指導方法を工夫する。

2. 書く活動

子どもの考えを可視化し、気づきや発見を共有できるようにして、考えを伝える時間の設定などを学習内容に応じて取り入れ、活用する。

3. 共有

ペアでの話し合いから、グループでの話し合い、全体での話し合いへと共有の場を段階的に広げる。自分の考えが友だちと共有されることで、広がりが見られ、学習が深まる。

4. 振り返り

自分の学び、考え、気持ち、学習方法など、学習の最後に振り返りを行い、次の主体的な学びへつなげていく。

視点② 言語活動の充実を図る。

- 基礎基本の力を身につける取り組みとして、朝と昼にチャレンジタイムを設定し、漢字やタブレット学習、英語や読書など、曜日ごとに取り組み、基礎・基本の学力の定着や、読書への関心を高め、日々の学習活動へつなげている。
- 読書活動への取り組みとして、図書館開放、読書週間、学習タイムで読書タイムを校時に組み込んだり、図書委員会の児童や地域の方の読み聞かせや、読書週間に取り組みんだり読書に親しみをもつ時間を設定し、文字に触れ合う機会を増やすようにしている。
- 「読み」(音読)「書き」(漢字)など、家庭学習の啓発として自主学習をすすめて取り組んでいる。

4. 研究の成果と今後の課題

(1) 研究の成果

- めあてを確認し、共有して学習を進めたり、成果物を指導者が実際に示したりすることで、身に付けさせたい力が明確になり、主体的な学びへとつなげることができた。
- ワークシートに書き表し、可視化したり、考えを板書に整理し共有したりすることで、新たな考えに気づき、児童の考えを広げることができた。
- ペアやグループで、自分の考えを他者と比べ共有し、発表を聞いて自分の考えと他者の考えを比べ、新たな考えに気づき、疑問が生まれ、視野を広げることで、深い学びができた。
- 読書活動の取り組みにより読書に興味をもち、漢字の学習を通して語彙力が増え、漢字や読書など文字に親しみをもって学びを実感することができた。

(2) 今後の課題

- 教材文の「内容」「構造」「筆者の意図」を読み取るため、児童の力を育てる。
- 発表やペア・グループ活動を継続して取り入れ、児童の主体性をさらに育てる。
- 普段から「なぜそうなるのだろう。」といった疑問をもち、自分から探究的に課題に取り組む児童を育てる。
- 本のジャンルを広げ、幅広い読書ができる児童を育てる。